

# CASBEE®広島

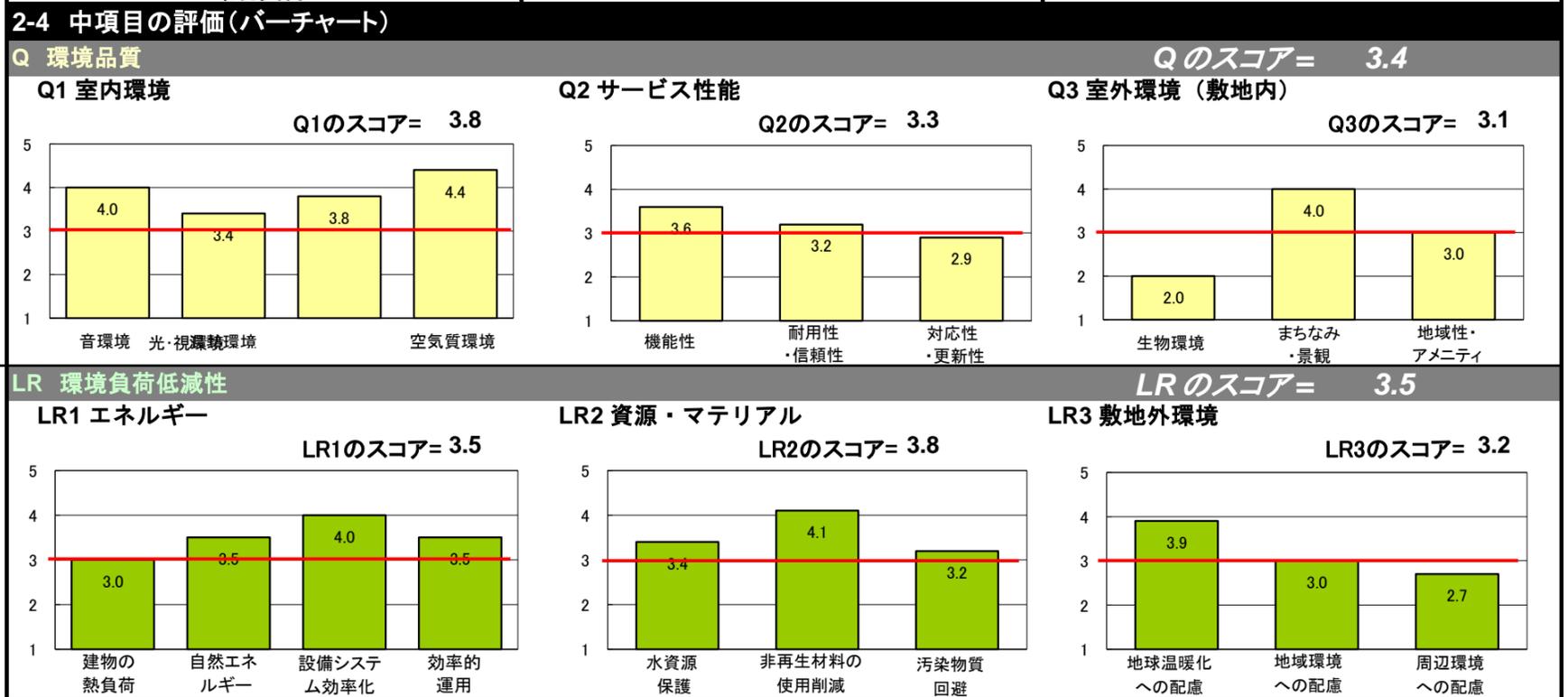
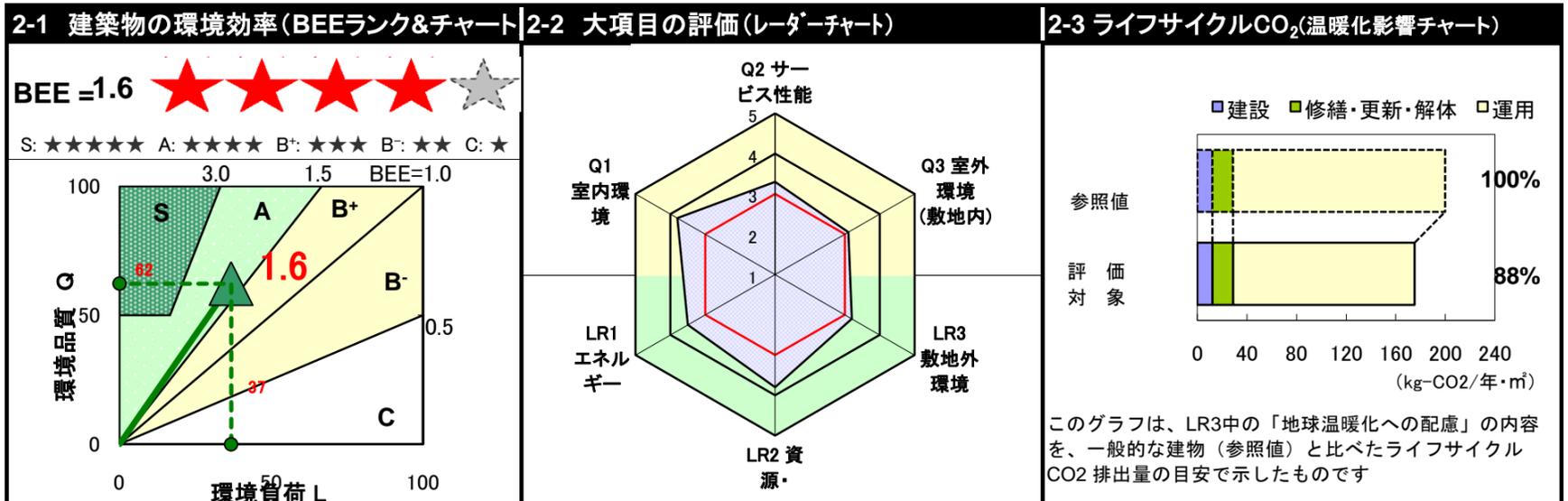
(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島東宝ビル建替計画	階数	地下1F、地上14F
建設地	広島市中区新天地	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,124 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2012年4月4日
敷地面積	1,389 m <sup>2</sup>	作成者	蔵本
建築面積	1,216 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	12,246 m <sup>2</sup>	確認者	



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 2.6	スコア = 3.8
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> ・LOW-eガラスの採用等による熱負荷の抑制 / ・ボイドによる自然採光 / ・節水型衛生器具、LED照明器具、高効率空調機の採用 / ・十分な換気量の確保 / ・節水型衛生器具、省エネ型空調機、照明器具の採用 / ・設備システムの高効率化	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> / ・適切な駐輪、駐車台数の確保	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> ・衛生配管材料の適切な選定 / ・躯体と内装仕上げ材の分離が可能な工法の採用 / ・PS、EPSスペースを適切に確保することによる設備の更新性の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される